



2011年9月9日
イオン株式会社

東北エリアの漁業の一日も早い復興に向けて イオン、東北太平洋沿岸部の漁業関係者と新たな取り組み開始

イオンは、東日本大震災で甚大な被害のあった東北太平洋沿岸部の漁業関係者と新たな取り組みを開始いたします。まず、岩手県の久慈漁業協同組合と提携し、北海道沖で漁獲された秋刀魚（さんま）一艘分を丸ごと購入して久慈漁港に水揚げし、東日本のイオングループにて最大200店舗で販売する取り組みを来週より開始します。

さらに宮城県石巻市においては、来月中にもイオンのブランド「トップバリュ」の水産加工品「トップバリュ さんま蒲焼」「トップバリュ さば照焼」の生産を開始し、全国で販売いたします。

東日本大震災の発生から、この9月11日（日）で半年を迎えます。今回の震災では津波のため、太平洋沿岸部の漁業関係者および漁港が甚大な被害を受けました。

岩手、宮城の両県とイオンはそれぞれ、地産地消や県産品販路拡大を含め県の一層の活性化と県民サービスの向上に協働して取り組む地域活性化包括連携協定を締結しています。両県とも漁業が極めて盛んな地域であり、両県漁業関係者の復興は、日本の魚食文化の継続に不可欠であり、お客さまに新鮮な魚をお届けする小売業である当社としても、両県の漁業や漁港の復興が欠かせません。

そうしたことから、以下の取り組みを開始することといたしました。

当社は、福島県も含めて他の地域や生産者とも話し合いを進めており、今後も東北の漁業関係者とともに、お客さまに新鮮な魚をご提供できるよう、取り組んでまいります。

【岩手県久慈漁業協同組合との取り組み】

- 内 容：久慈漁協が手配した漁船が北海道東方沖で水揚げした秋刀魚を当社がすべて買い取り、久慈漁港（岩手県久慈市）に水揚げ、イオンの店舗で販売
- 水揚げ：初回水揚げは来週早々を予定
- 水揚量：秋刀魚約20トン（約15万尾）を予定
- 販 売：東北・関東エリアの「イオン」および東北エリアの「マックスバリュ」「イオンスーパーセンター」最大計200店舗を予定

【宮城県石巻市での「トップバリュ」水産加工品生産の取り組み】

- 内 容：イオンのブランド「トップバリュ さんま蒲焼」「トップバリュ さば照焼」の製造
- 加工場：山田水産株式会社 石巻事業所（宮城県石巻市魚町1-11-6）
- 時 期：10月中に生産・販売を開始（予定）
- 特 長：「トップバリュ グリーンアイうなぎ蒲焼」のノウハウを生かし、ふっくらやわらかに焼き上げ

ご参考

◇ イオンの漁協との直接取引の取り組みについて

イオンは、2008年7月、当時の大幅な燃料費高騰を受け、全国漁業協同組合連合会から水産物流通の現状や課題についてお伺いしたことをきっかけに、水産物の需要喚起と持続可能な漁業を通じた魚食文化の継続を願い、翌8月に漁業協同組合JFしまね（島根県）と協同して直接取引の取り組みをスタートしました。その後、石川県、千葉県、神奈川県、山形県、広島県においても、順次取り組みを実施し、現在全国6カ所で直接取引の取り組みを実施しています。

これまでの取り組みを通じ、イオンは、より鮮度の良い生鮮魚の提供や、魚種が増えることによる売場の楽しさをお客さまにご提供することで、水産物の需要をさらに喚起出来るものと確信いたしております。

今後も、当社は、全国漁業協同組合連合会や各地の漁協、漁業生産者との連携を深め、漁業関係者と共に、お客さまに継続的に、より新鮮な魚介類の提供と売場の楽しさを実現し続け、魚食文化の持続の一助となるべく取り組みを進めてまいります。